

HI!
SOUJU
WAKEDU
'MAESETSU'
DE
GOZAIMASU

どぶ4コマ前場 2

デカちゃん

KONO
TOBIRA
GA 4-KOMA
WO
ARAWASITE
RU KOTO
KIDUITERU

ITITTI
KONNATOKO
MADE
YOMANDEMO
IINDAYO!

ATUIZO
THIKU
SHO!

KISAMA!
HAKIN
NI
SULUKI
KAI!

by 山下うり
Woory Yamashita



CATなデカちゃん

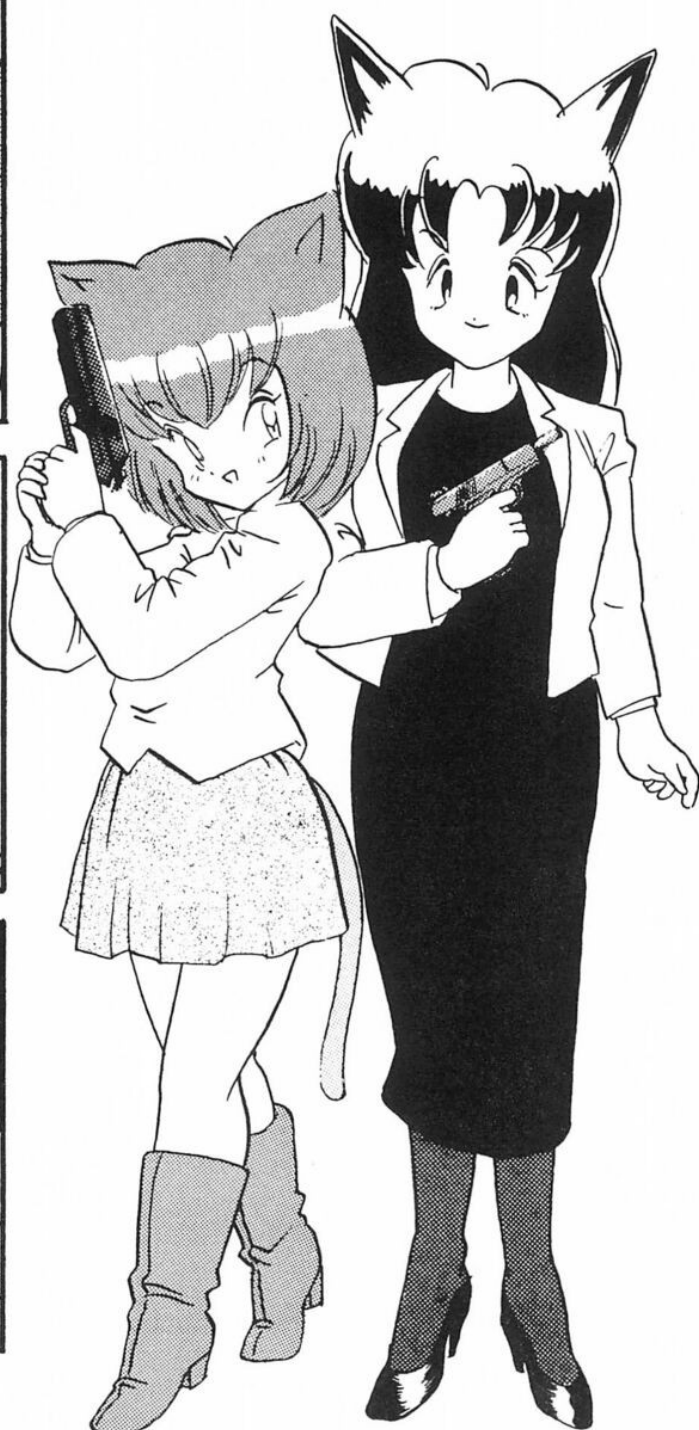


も く じ

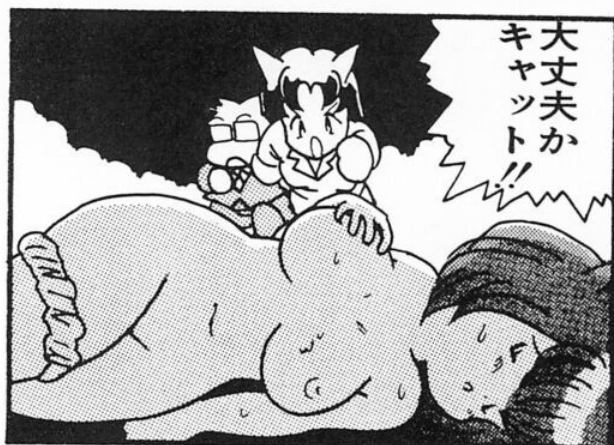
CATなデカちゃん	5
解説	38
ゲスト様のページ	40
神村 雪衣	41
犬	42・43
猫山 れいめ	44
月角	45
印玄	46・47
MERCY・RABBIT	48
CATなデカちゃん特別編	50
おくづけ	58



おとり捜査



犯人逃走！



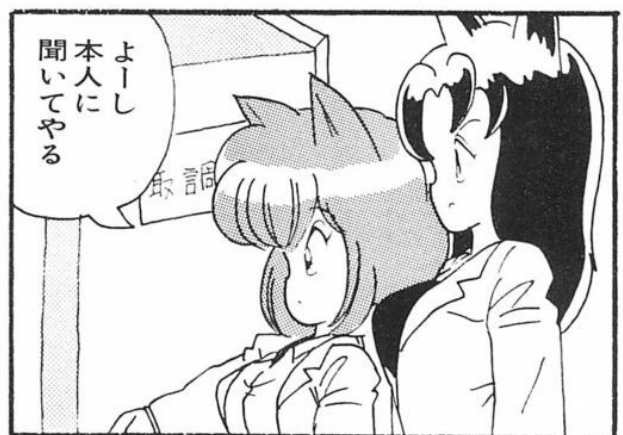
犯人発見！



ラッシー刑事



犯人逮捕!



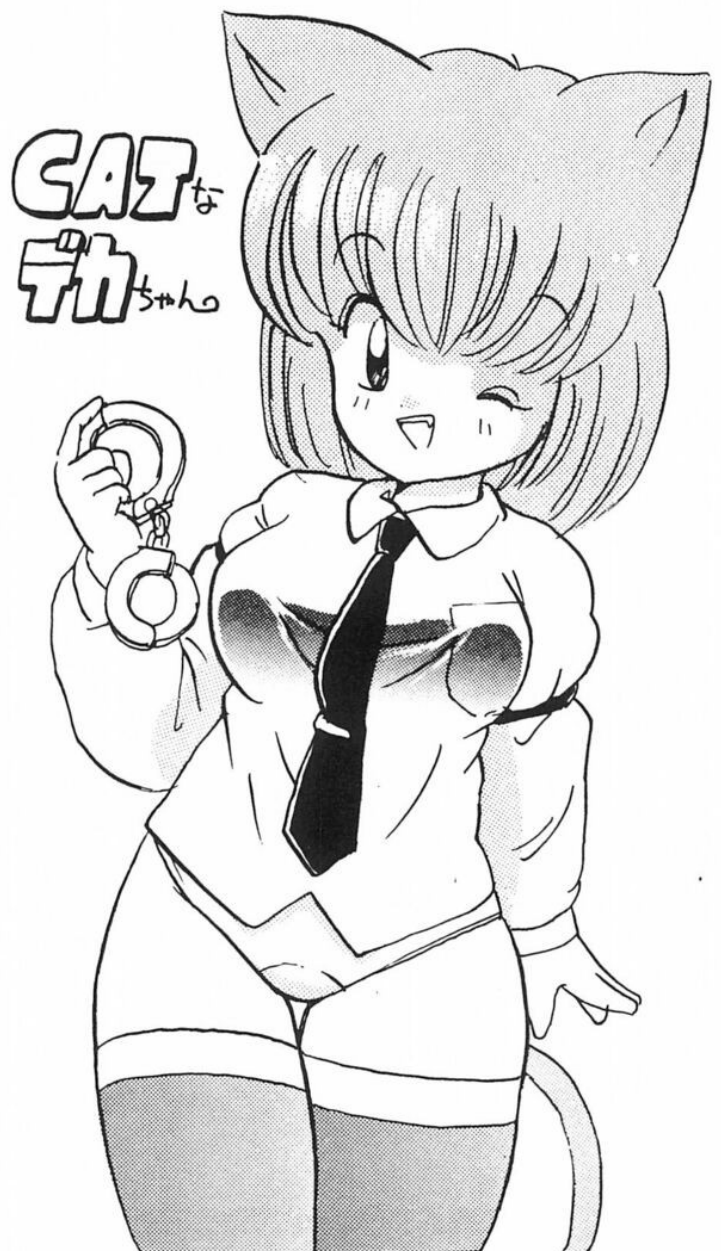
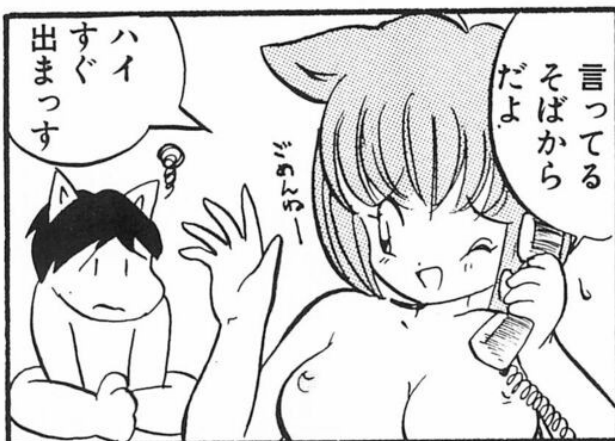
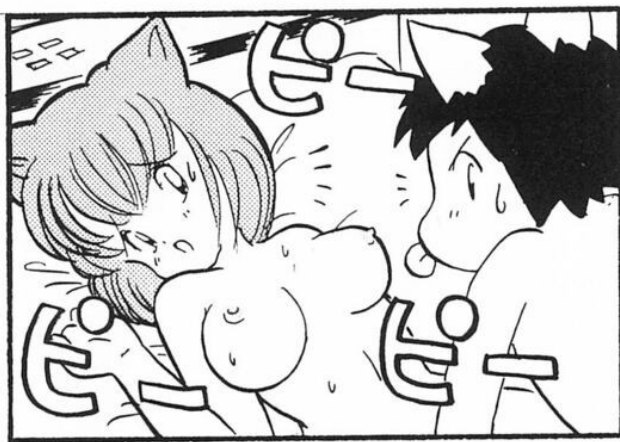
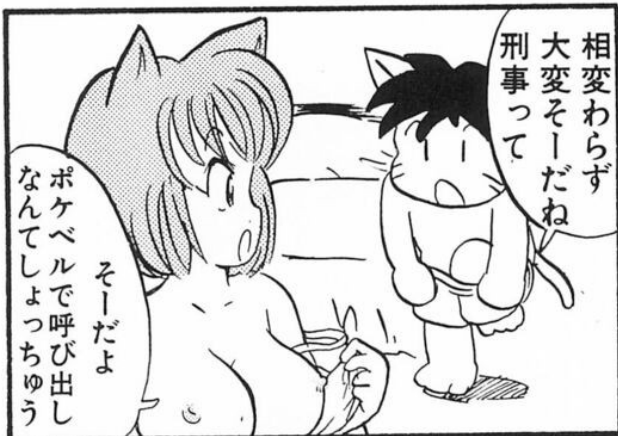
怪盗フォックスの敗北



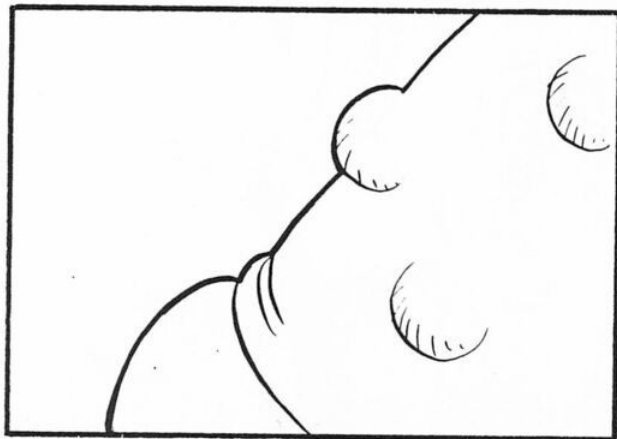
怪盗フォックスの挑戦



呼び出し



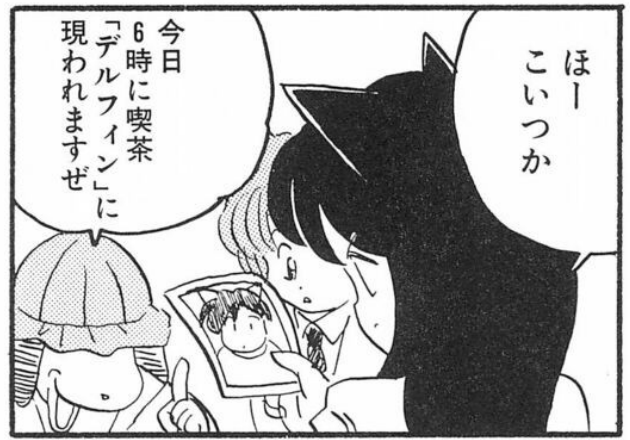
ゴリさん



一匹狼



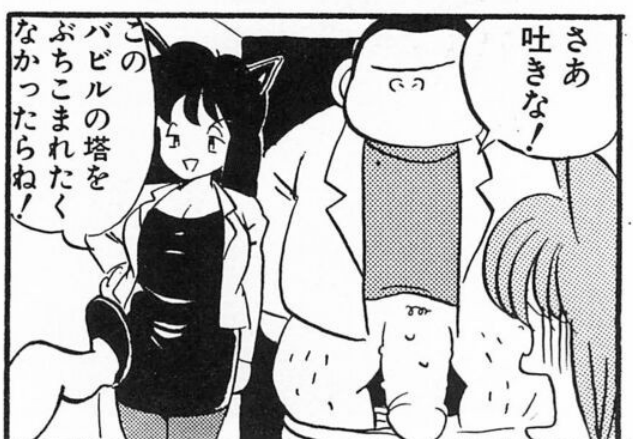
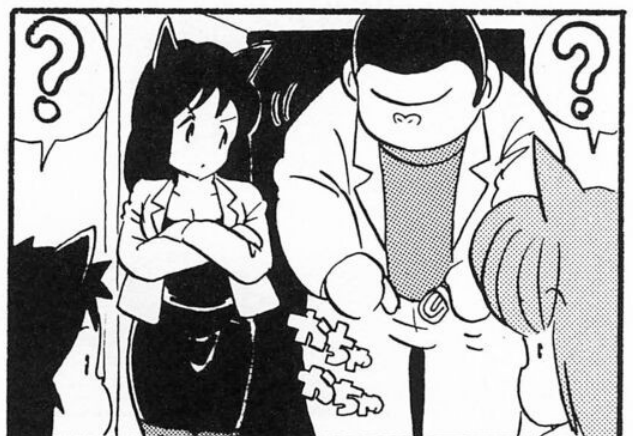
張り込み



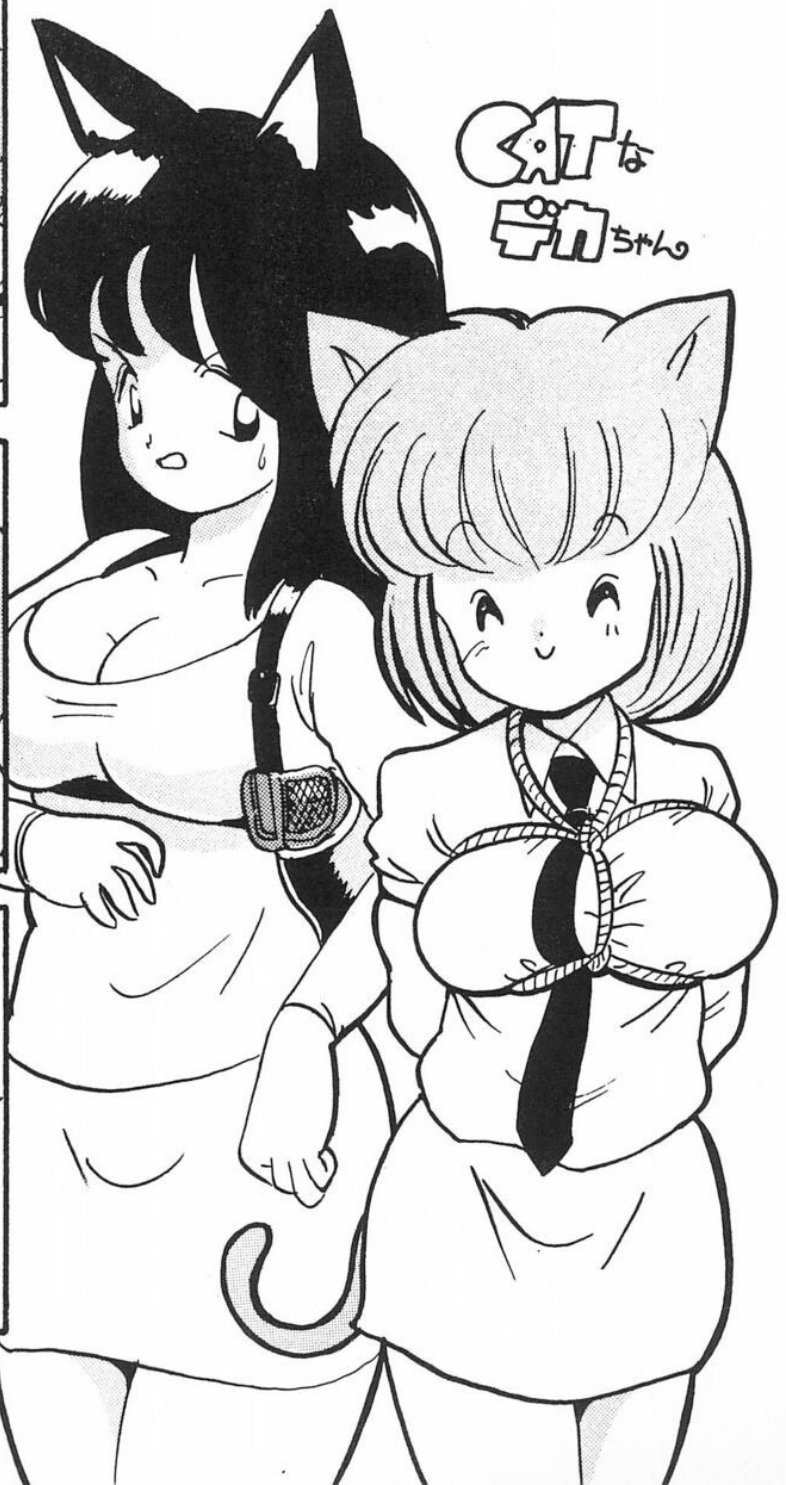
寒い季節



取り調べ



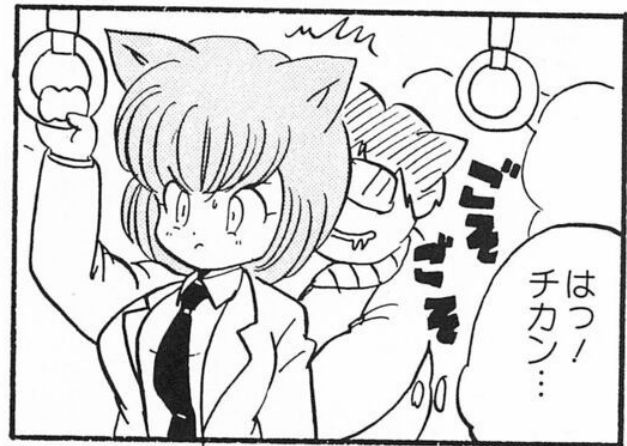
死後硬直



盗 聴



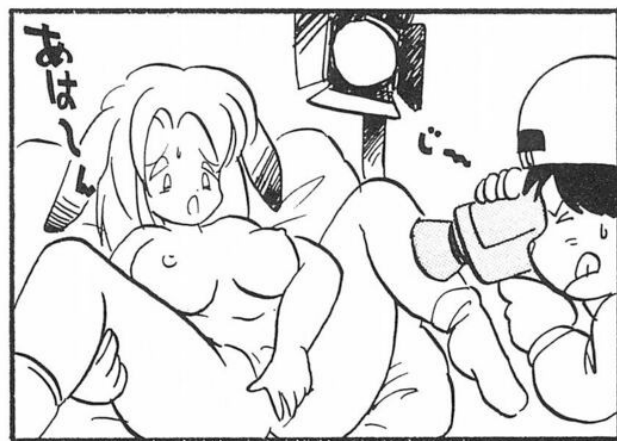
ちかん



バスジャック



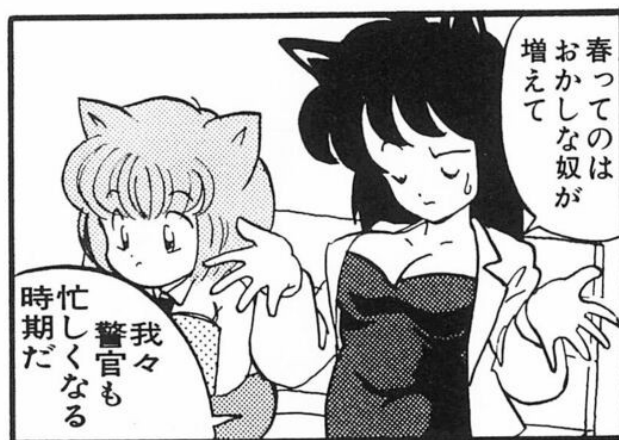
裏ビデオ



十手術



春



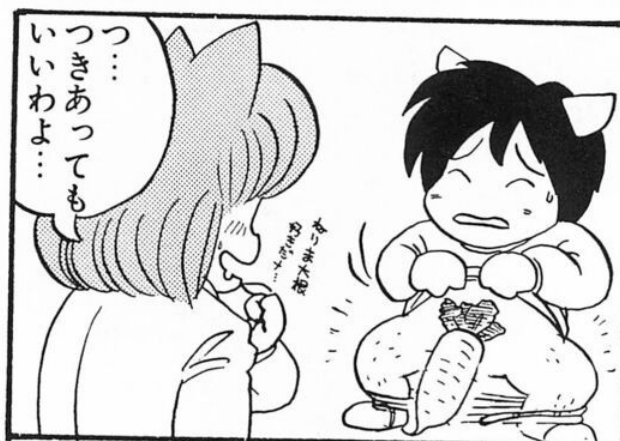
CAT^な
デカ^{ちゃん}



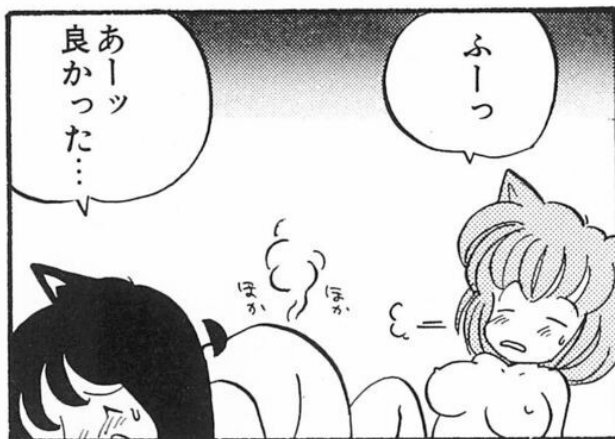
食い逃げ



アタック



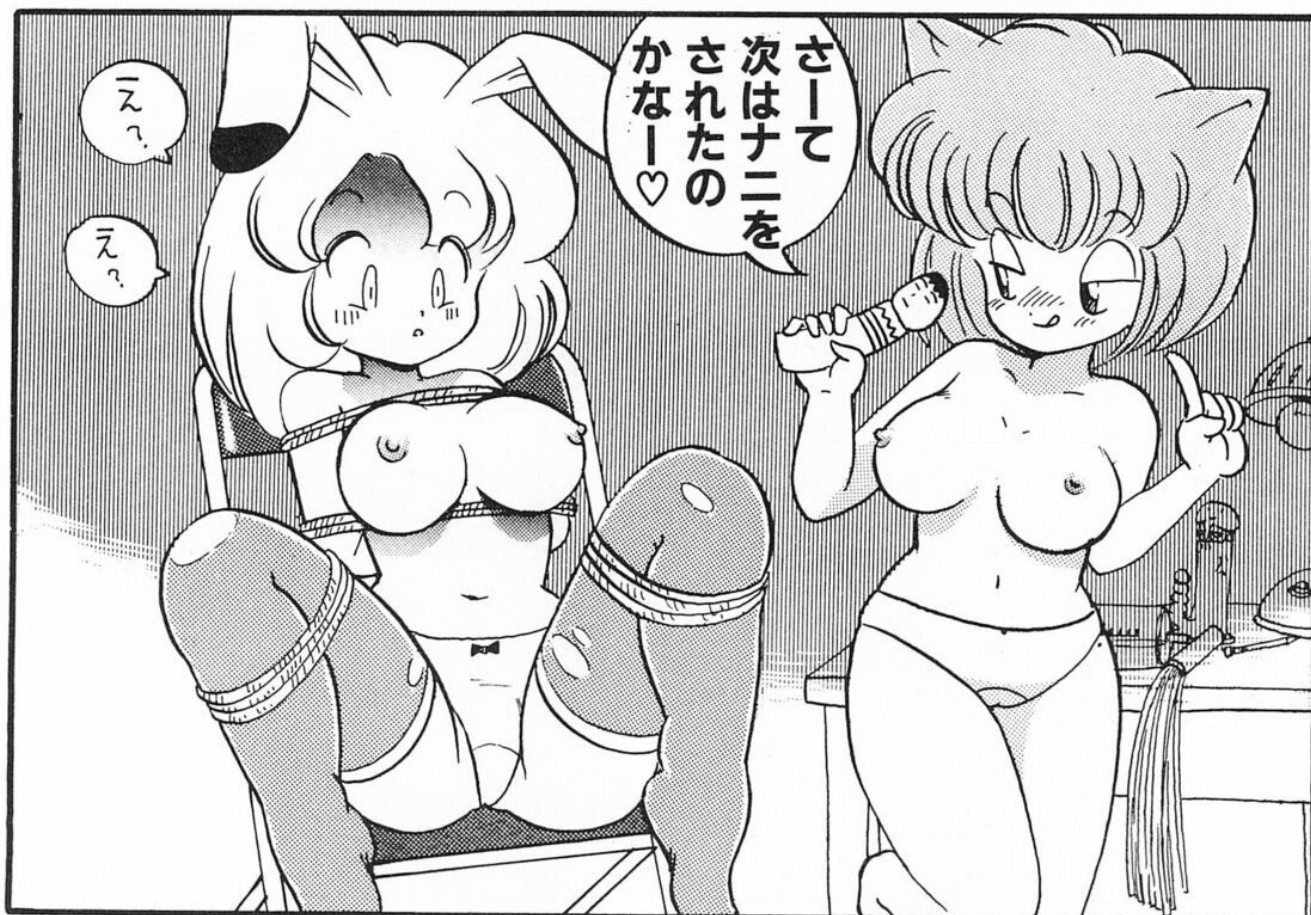
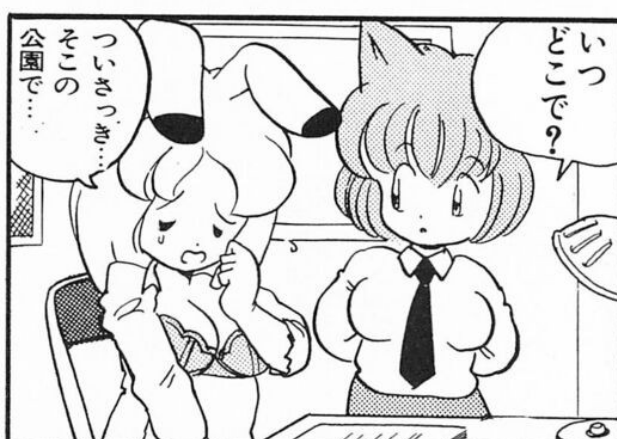
犯罪心理学②



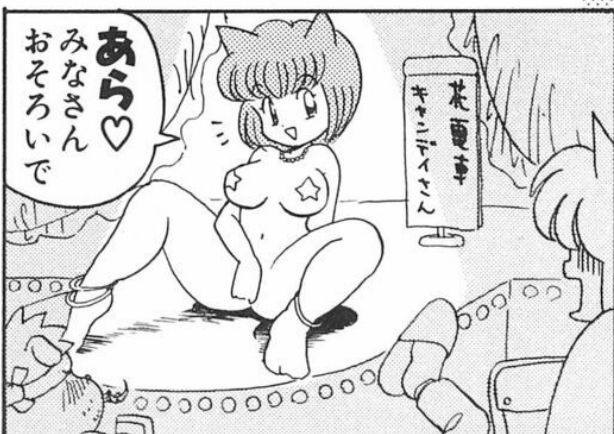
犯罪心理学①

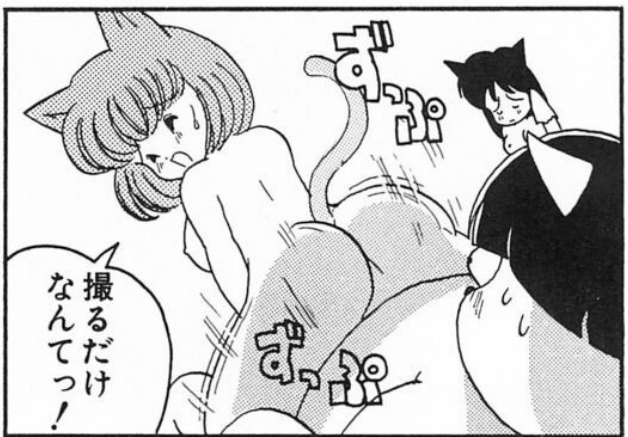
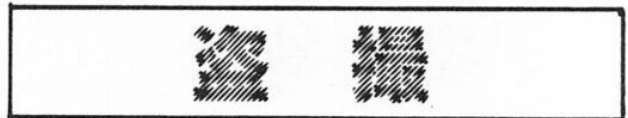


うさぎさん災難

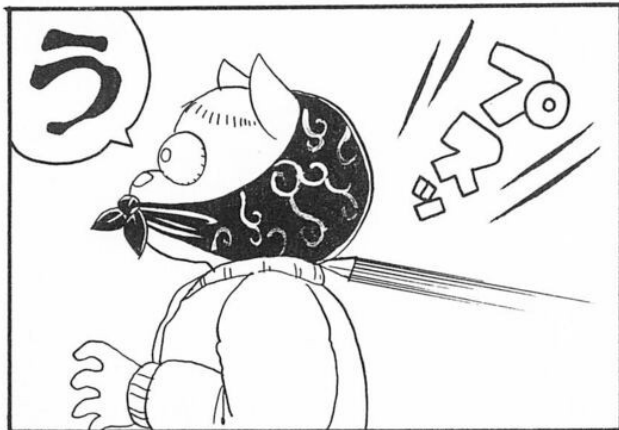
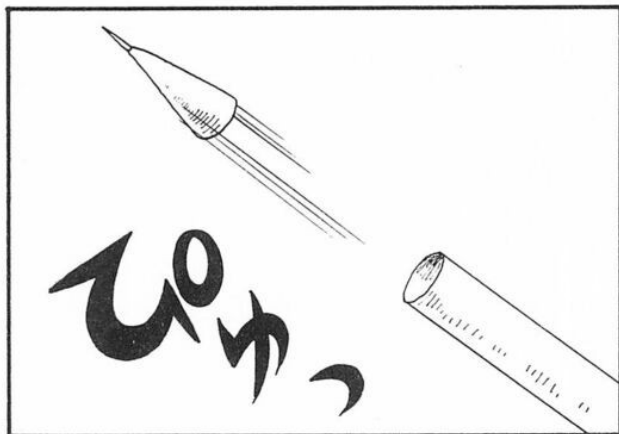


温泉旅行

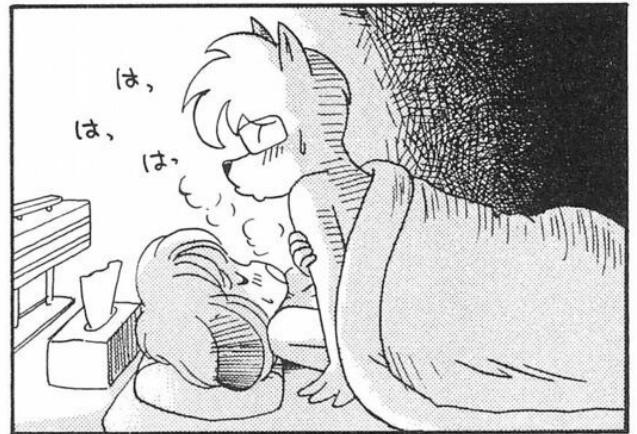




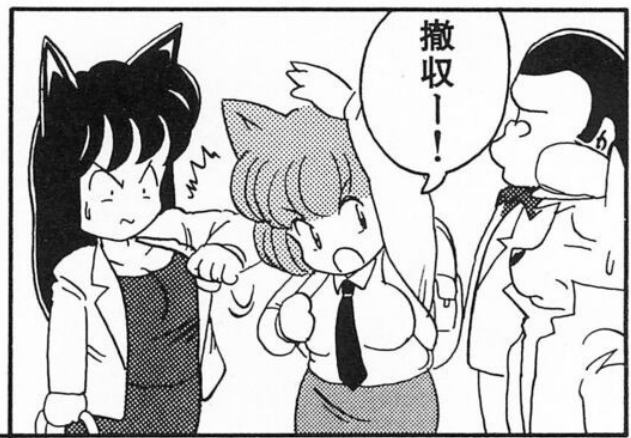
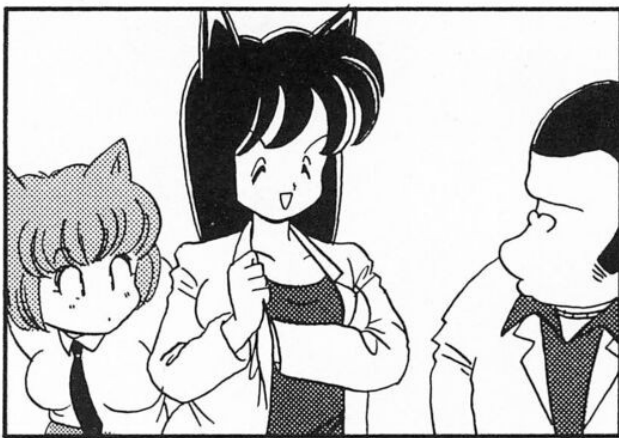
吹巻矢



初夜



チェックアウト



予告状



怪盗
フオックス
VS
CATな
デカちゃん
(前編)



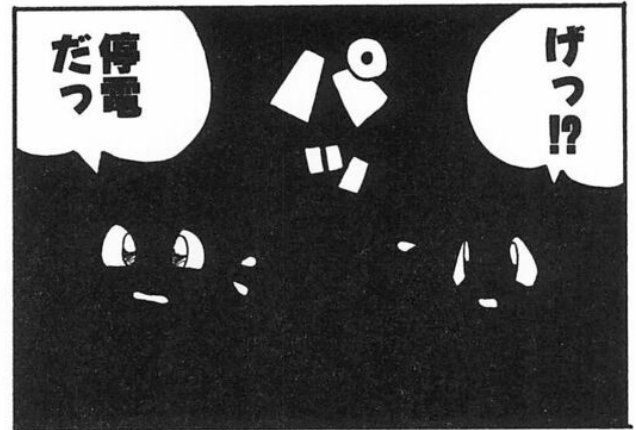
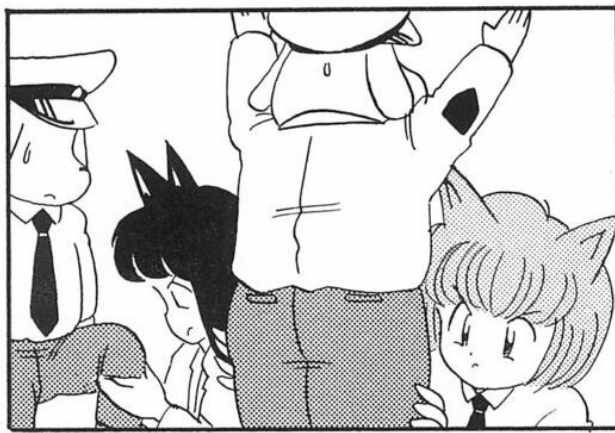
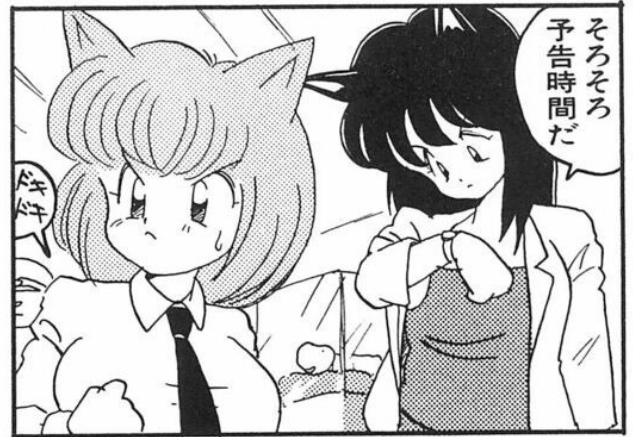
腕つぶし



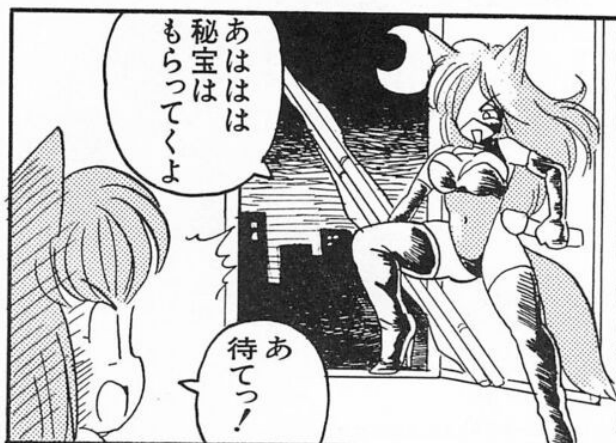
指先



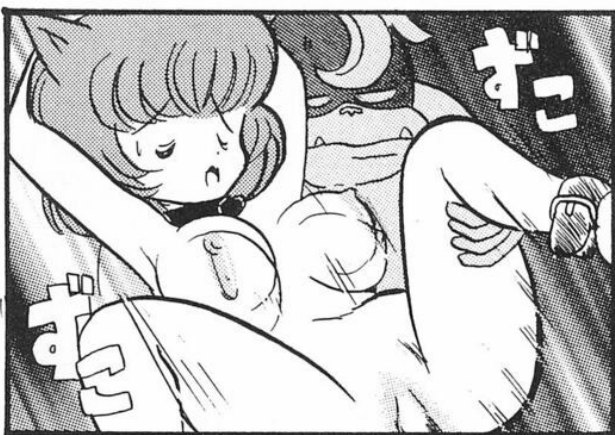
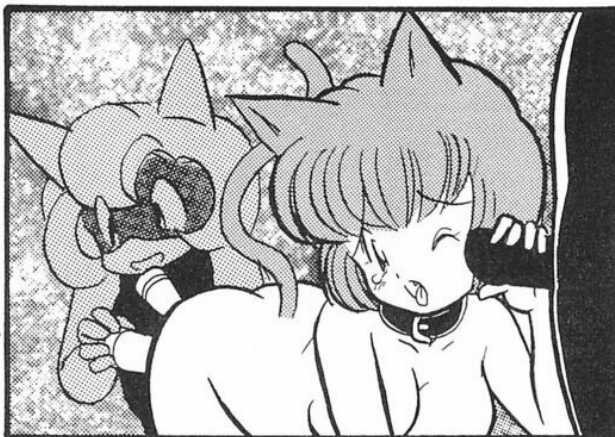
宝を守れ!



おみやげおみやげ



罾られる



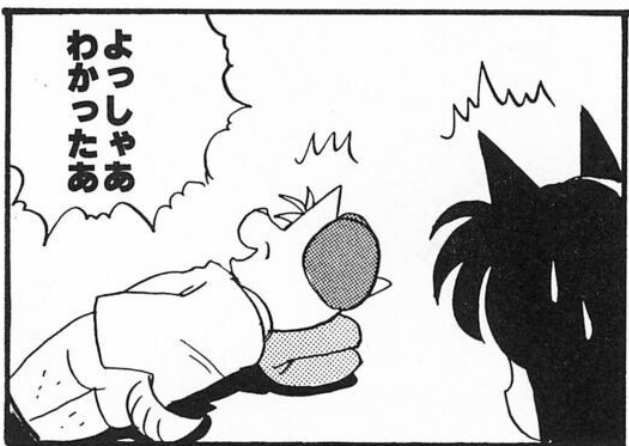
後編



※前回のあらすじ

秘宝を盗んだ怪盗フォックスを追ったキャット刑事だが、一味に捕まってしまい、凌辱の限りを尽くされるのだった。

はっちゃけた!



キヤット奪回

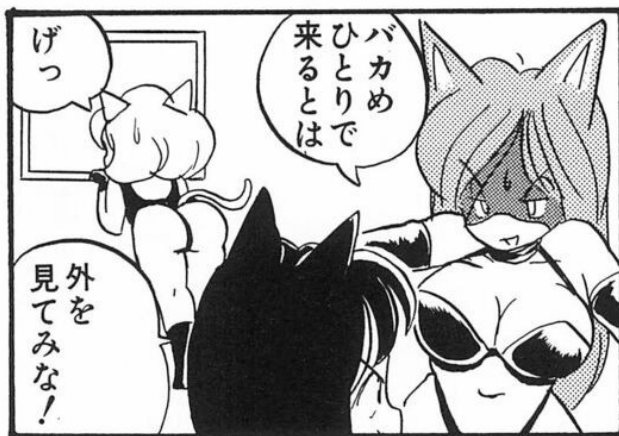


ラッシー刑事は、とても鼻がきくのだ!

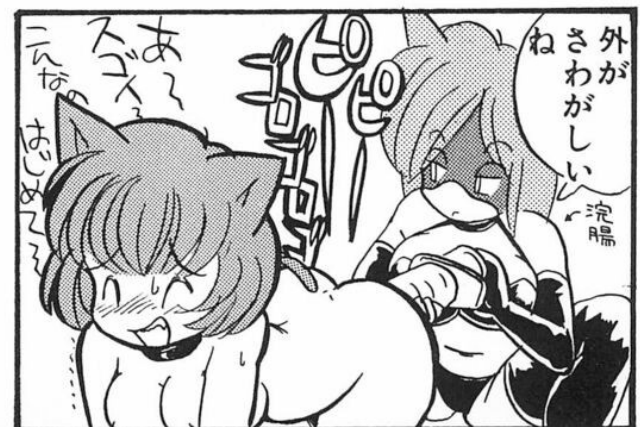


※ラッシー刑事は下着フェチなのだ!

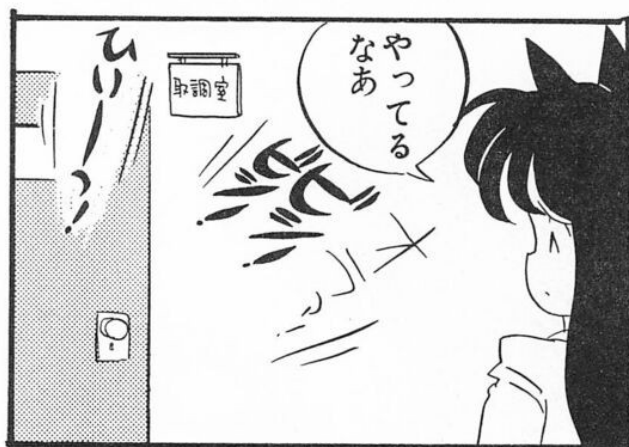
突入だ



アジト発見

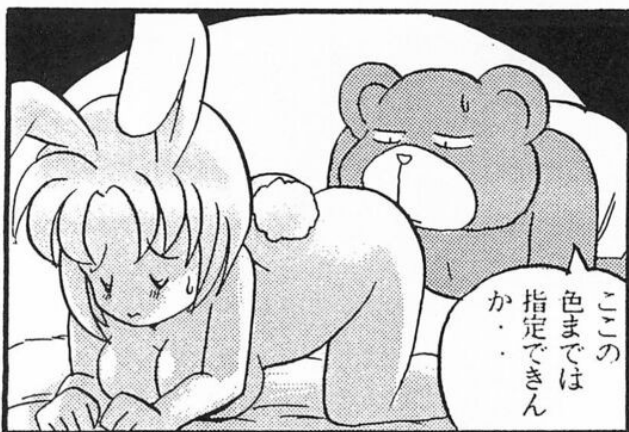
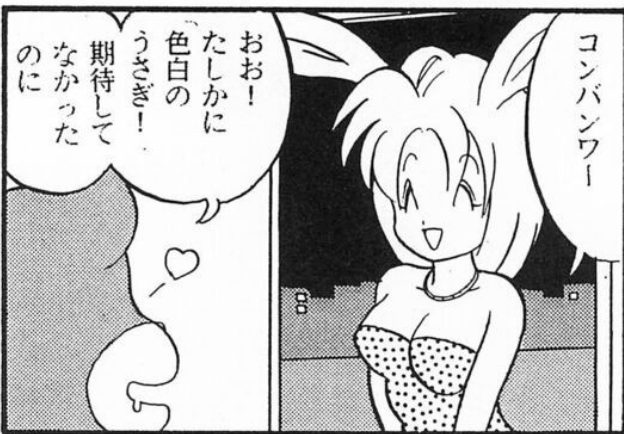
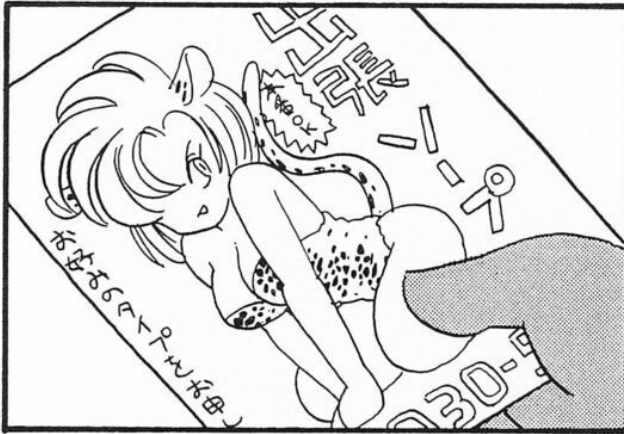


刑事魂

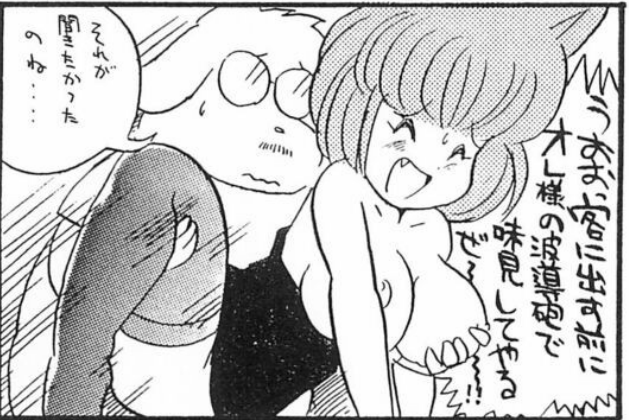
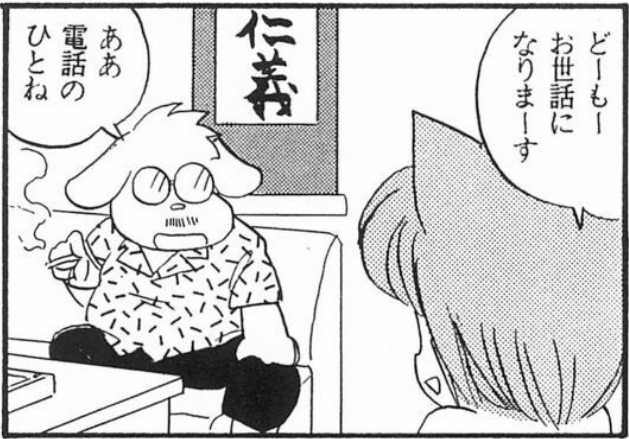




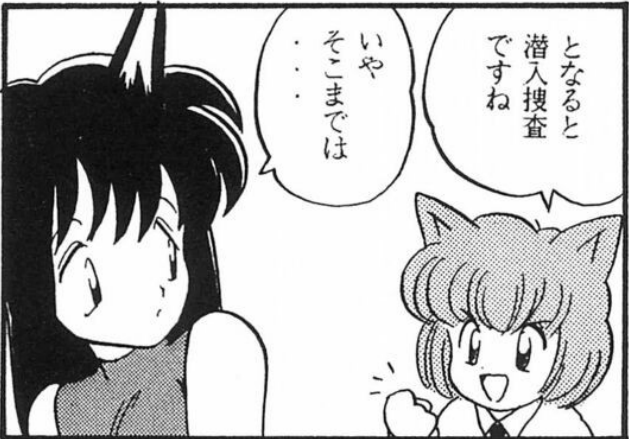
売春ってなんだ



そして潜入



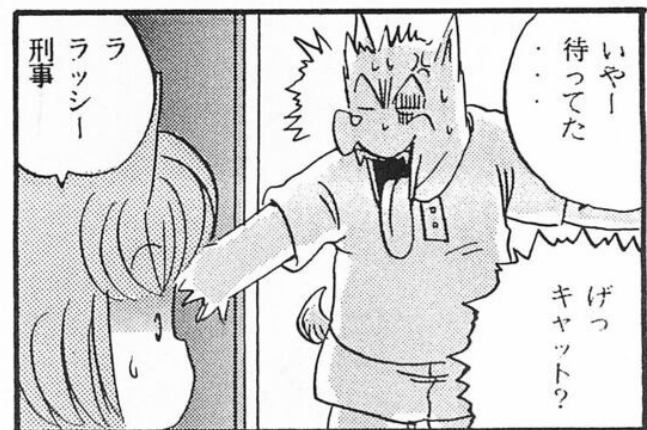
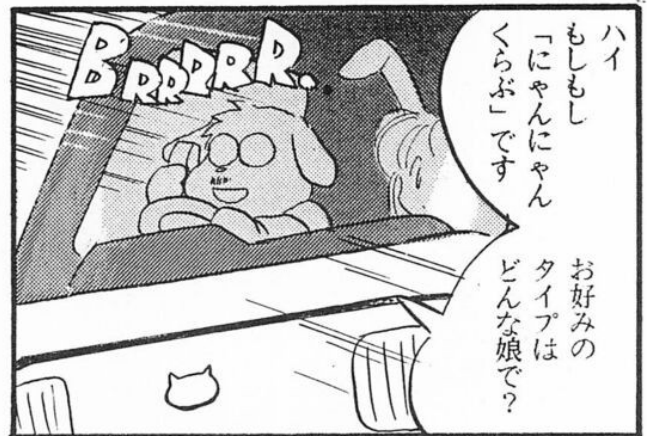
そしてどーぶつ警察



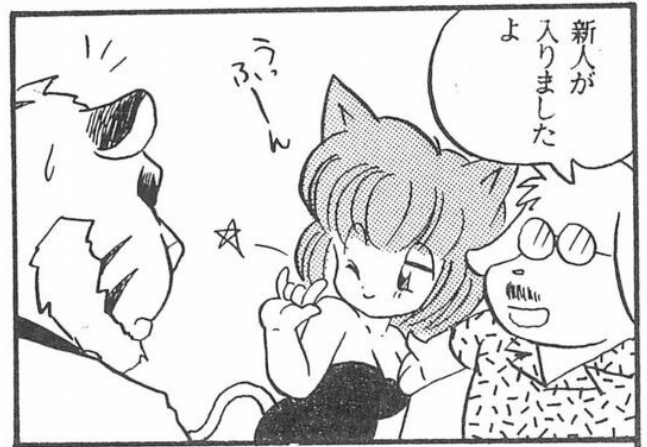
お願い言わないで



初仕事だよ



黒幕



どーも、山下うりです。この「CATなデカちゃん」は「まんがカルビPOWER」という雑誌の連載「わくわく♡らんど」の再録なんですけど、これの前はオムニバス形式というか一本一本独立した4コマだったんですが、この「CAT」もその中の一本の予定でしたが結局8回も続いてしまい、この本はすべて通しのキャラクターで構成されてます。「カルビ」は下ネタ4コマというジャンルの、まあ同人関係の読者とか若い世代の人にはもうひとつなじみの薄い雑誌なわけですが、21世紀に向けてのマンガ研究家のワタシとしては、異ジャンルのクロスオーバーの実験というか、こういう雑誌にオタクっぽいマンガってのもいいかな、と。ほんで、シモネタマンガって「シモネタあり」のマンガじゃないんですね。「絶対シモネタがガンガン入ってなきゃダメなマンガ」なんですな。つまり普通のギャグマンガの絶対的価値観である「笑い」はさほど重要でないのか、もしくはワタシの笑いのセンスがずれてるのか、シモネタ4コマには苦勞させられました。（カルビに限らず）だからこのマンガみて「こいつ、こんなスケベなことばっかし考えとんのかえ」とか思わないよーに。そういうもんなんだから。ほのぼのネタはタブーなのである。（まあ、やるのは勝手ですけど、まず数字とれませんか。）一年あまり4コマやって、結局如何ともしがたい世代の格差をかんじつつ、一筋の光明を見たのがこの連載だったんですね。他にもいくつかこの系の4コマやってたんですが、その中でも猫耳ウサ耳の最も尖鋭的（なわけないか）なこの作品が生き残ったというのもおもしろいデータと言えましょう。ちなみに大洋図書の「漫画おち☆フリーク」でも「ふえろもん☆シアター」というどーぶつマンガを描いてますのでそちらもよろしく（それとは別の創刊号の読み切りも結局どーぶつにしても一たし）。んなわけで4コマでは表現に限界があるのでちょっと各キャラを解説してみましょう。

キャット刑事

この4コマの主人公。本名不祥。天真爛漫淫乱猫少女。いうまでもなくボケ役。が、初めのころはセンパイがボケてしまうことが多く、ヤバイと思ってボケに徹しさせたら、とんでもないキャラクターになってしまったが、その分動かしやすくなつた。両刀使いでもある。余談だがワタシのHマンガの女性キャラは説明なしでバイセクシャルということにしている。そーするといっぱいキャラつくってもフレキシブルなネタ作りができる。大多数の読者にはウケが悪いかもしれないが、やはりあくまでネタ先行で考えたいのである。ファックシーンさえだしやああとはいどーでもいい、なんて割り切れれば4コマ誌でももうちょっとアンケートよかったかもわからんし、楽だったろうがな。けけっ。年齢は20前後であろう。あ、でも十代で刑事ってありえないか。榊原郁恵とか芳本美代子のイメージ。ところで、キャットのしっぽは連載途中でモデルチェンジしている。これはワタシがまちがって描いてしまったのが掲載されてから気付いたので、しょうがないので新しい方（間違った方）に、以後統一したわけです。ちなみに同人誌にした段階で直してるので、この本では確認することはできません。



←埼玉県/KAOさん（まんがカルビの読者コーナーへの投稿作品です。）
ほらね、違うでしょ。ちなみに修正作業のとき見直したら、この他にもう1種類のバージョンがあった。とほほ

センパイ

本名不祥のうえ、劇中ではキャットしかこのひとのことを呼ばないので、「センパイ」という曖昧な呼び名しか出てこない。まあ4コマではよくあることだ。キャットが猫なのに対し、彼女は犬である。ついでにいうと犬種はドーベルマンである。「ドーベルマン刑事」にひっかけたギャグも考えたが、しょせん4コマ誌では無理と考え、断念した。この人は実は大富豪のお嬢様で、両親が出てくるエピソードなんかも考えたが、Hにならなかったのでもったい。歳は20代半ばってところか。ワタシはマンガの女性キャラをデザインするとき、相対的に高年齢のキャラはタレ目にするくせがあるようである。ちなみに最初のネームでは男性だったが、編集さんのアドバイスで女性にした。彼女もモデルチェンジがある。これも自分で気付かなかったが、連載当初は髪がセンター分けだったのである。牛田さんの時と同じ間違いを犯してしまった。

ゴリさん

やはり本名不祥。刑事ものにはつきもののガタイのいいこわもての刑事。たいがいこういうキャラクターは気は優しくて力持ちつてのがお約束だが、こいつに関してはそうい描写はなく、単なる変態暴力刑事のようである。まあ苦し紛れのキャラの宿命というものだ。

ラッシー刑事

この人に限ってはこれが本名のようなのである。(一体どこの国の話なんだろ・・・)「刑事犬カール」(しっとるか?)にあやかって「カール」にしようと思ったけどわかりにくいので「リンチンチン」にしようとした。わーい下ネタっぽくなったぞー。でも長いのでボツ。結局有名な「ラッシー」の名前を頂いた。いいキャラクターしてるのでありがたかった。モデルは「太陽にほえろ!」の山さん。



怪盗フォックス

ワタシのどうぶつマンガによくでてくるキツネのおねえさんのパターンのひとつ。編集さんに「木常さんみたいなキャラクターでしたら?」といわれて何も考えずにそのままのキャラを使った。だからよく「同一人物なの?」と聞かれるが、何ともいえない。そーかも知れんし違うかも知れん。とにかく「CATなデカちゃん」では怪盗フォックスなのである。「ぶち☆フリーク」の「にゃんにゃん学級日誌」では「スケバンフォックス」として登場している。

その部下たち

モデルはいうまでもなく「タイムボカンシリーズ」のアレである。最初はフォックスとリンクス(っていう名前なのだ)だけだったのが、マウスとブルをいれると妙にしっくりきたのでこれで一回分(4ページ)ネタ繰るかー、とおもったら二回分出来てしまった。三悪+女の子のパターンは「逆転イッパツマン」のパターンですな。



↑ 札幌市/渋谷さん(通販のお手紙より)
まあそーいうわけです。「ほのぼの家族劇場」見ててくれたとはうれしい!あのママもどっかでまた使いたいなー。

ゲスト様のハロエミ

神村 雪衣

犬

猫山 れいめ

月角

印玄

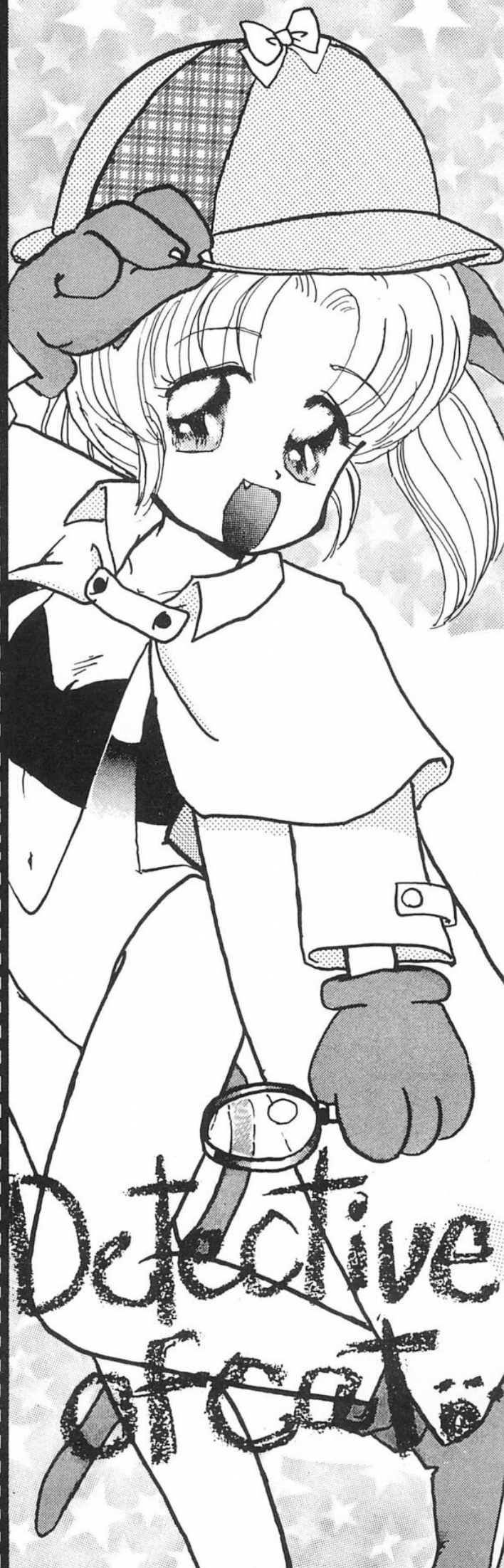
MERCY・RABBIT



ぬこはこたつで推理する



ばい かみむら せいつゝ



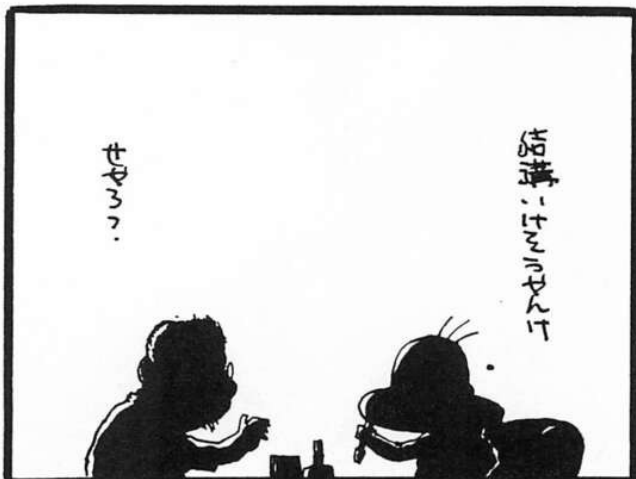




リスのバナナー。猫山れいめ。







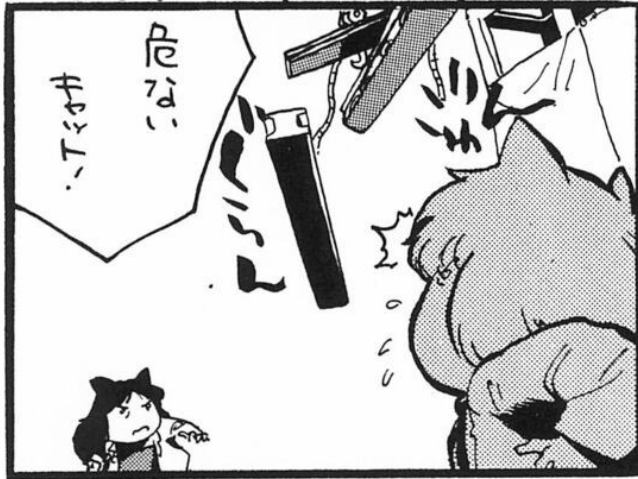
山下さんちのあけ話

いけい

フリーのネタ線りに
つまみでデニーズ
のへんかした時
のボツネタ。



編情旅刑事さすらい



派職駒刑事はぐり



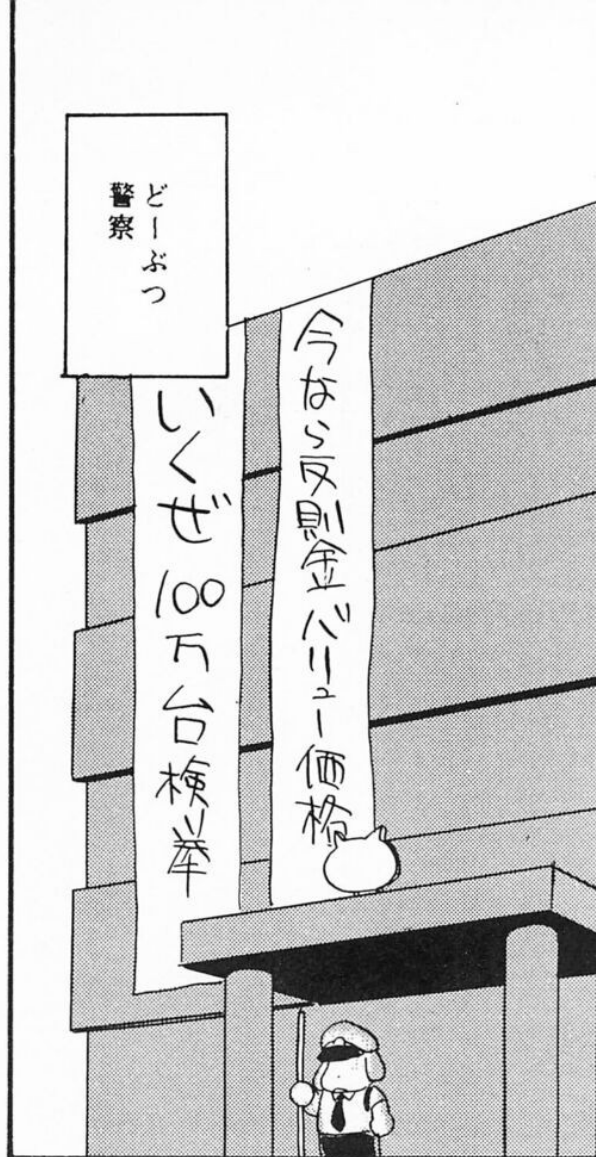


CATな
デカちゃん

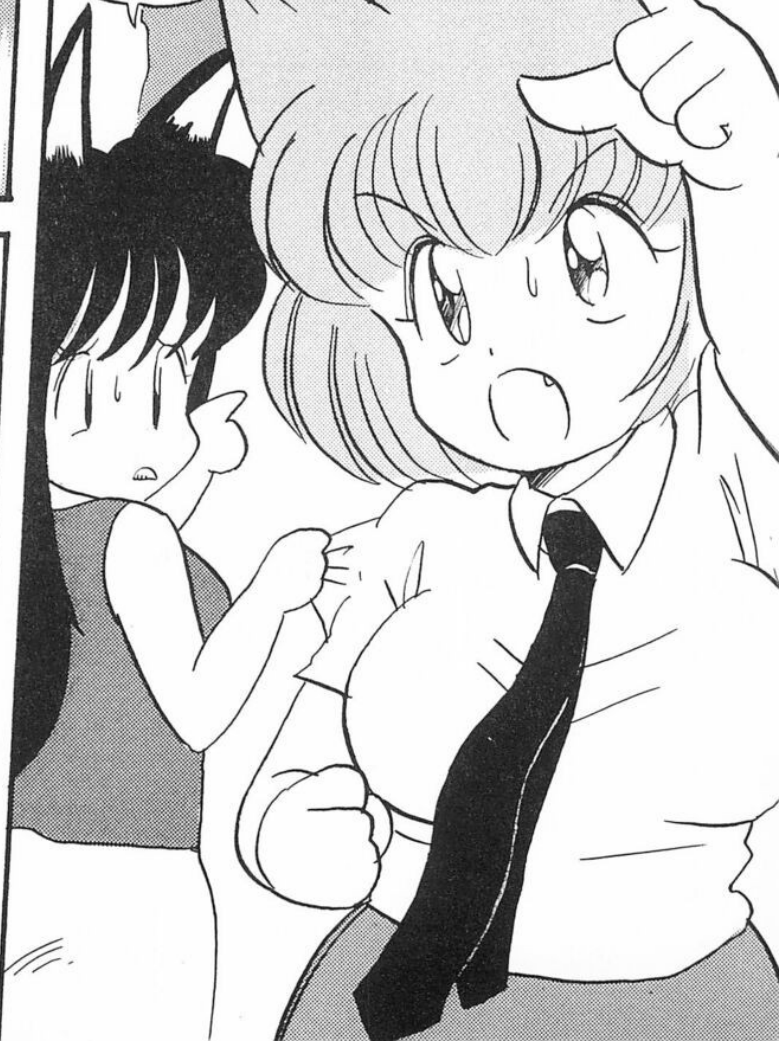
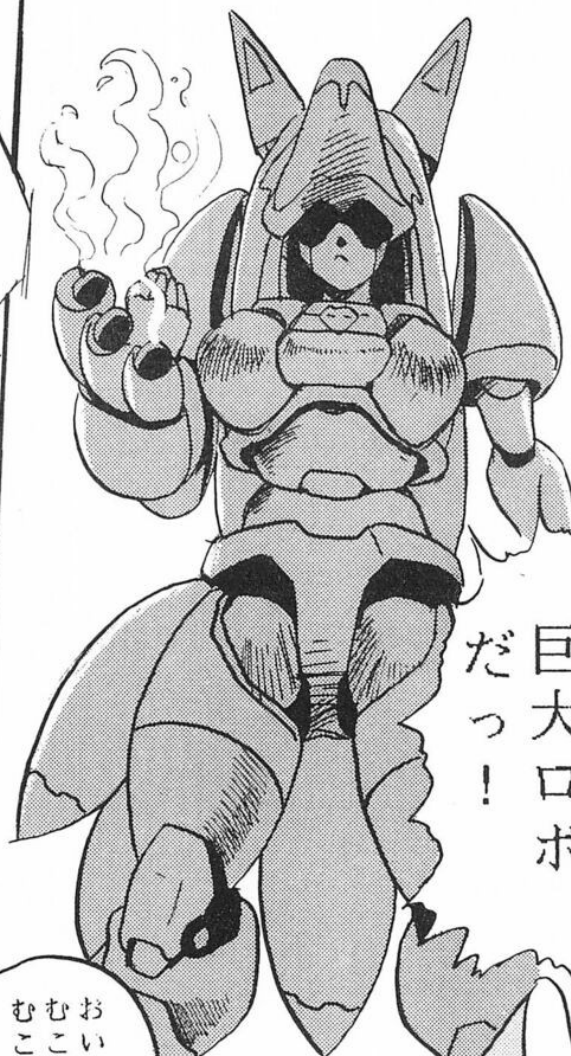
特別編

山下 うり

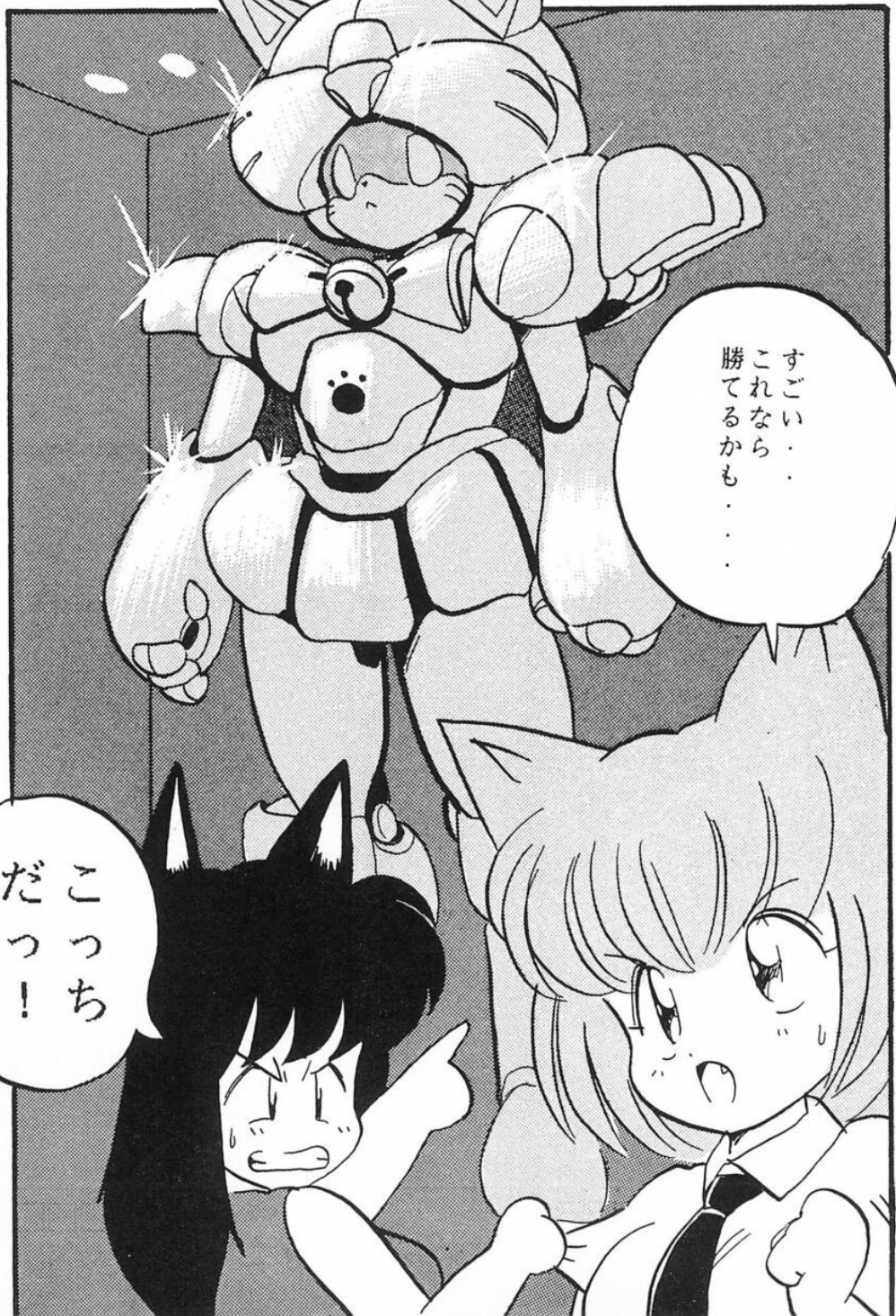




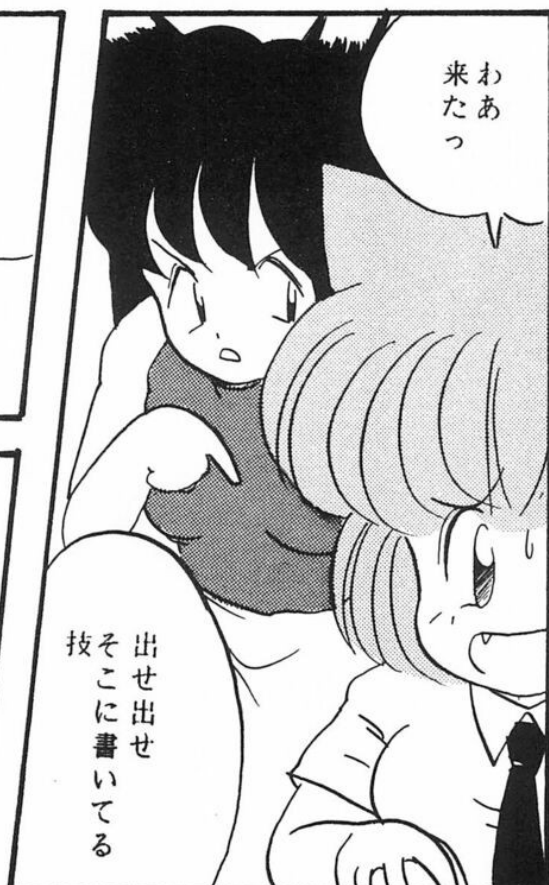
でましたね
お約束

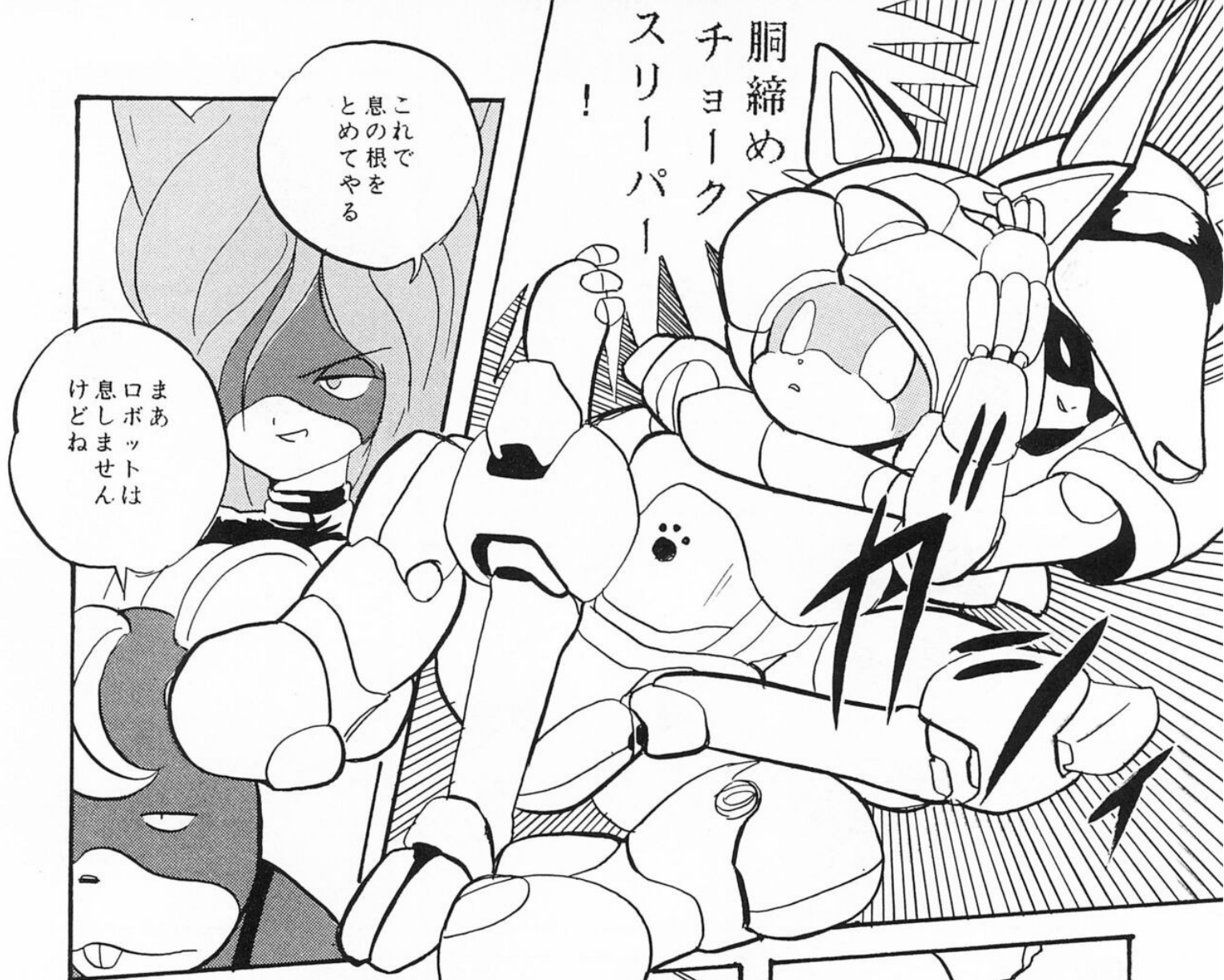


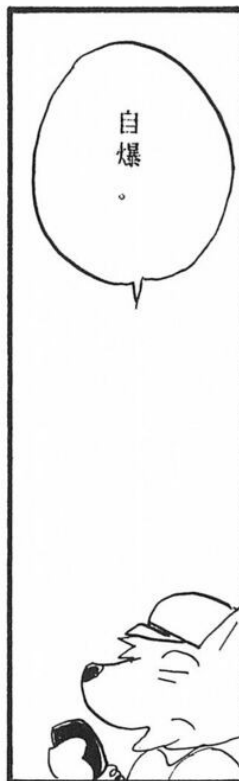












通販のお問い合わせは切手を貼った返信用封筒同封にて下記住所まで。

感想などお手紙もお待ちしてます。

あと、サークル運営スタッフを募集しよーかなーと思ったがここにそんなこと書くのは危険かなあ。まあ、その気のある方はご連絡下さい。コミケにタダでは入れるよ。

山下うりの連載まんが

◎「わくわく らんど」(まんがカルビPOWER・若生出版)

この本のもとは。9月発売の号から巨乳の牛の奥さんの物語です。

前にも書いたがタイトルは編集部がつけたもの。

◎「ふえろもん☆シアター」(漫画ぶち☆フリーク・大洋図書)

2色の「わくわく らんど」。ロリロリでいきましょう。

◎「悪夢のアクマちゃん」(漫画ぶち☆フリーク・大洋図書)

初のストーリー連載。詳細はヒミツ。

◎「山下うりのおじやますでス!!」(COMICゲームファイター・リイド社)

先に書いとくけど、これもわしがつけたんじゃないっ!本みてビックリしたよ。

ゲーム会社に取材にいったアーケードゲームの開発秘話を漫画にする実録もの。

まあ、他にもいろいろとやってます。

〒176

東京都練馬区旭丘1-51-5 あけぼの荘206

山下 亮



十三

ミュージック

THE CATTY COP

